

平成30年度 文化資源活用補助金 採択事業一覧表

申請事業	団体名	事業名	事業内容
つながる保存・修理事業	御所市	御所市指定文化財保存修理事業	明治維新の先駆けとなる天誅組の主要メンバーであった吉村虎太郎が着用していたという褌衣(肌襦袢)のクリーニングや脆弱部の補強など修理をおこなう。
	一般社団法人高畑トラスト	藤間家住宅保全・活用プロジェクト	春日大社の社家住宅である「藤間家住宅」の修理事業。江戸中期の建物であるが、明治期に祭壇から改修した床の間・居室の不陸・傾斜調整、同部分の屋根解体修理、階段倒壊修理など、明治期の改築部と導線部分を修理し、一般公開をめざす。
歴史文化資源活用のための周辺整備事業	三郷町	文化財説明案内板QRコード活用事業	QRコードを掲載し、解説内容の多言語化やHPでの追加解説をはかるとともに、万葉歌の音声や映像も閲覧できる案内板1カ所、万葉碑4カ所を設置する。
	奈良市	五劫院ほか文化財解説板製作設置事業	指定文化財(重文・県指定)を有する五劫院・徳融寺・常德寺・阿弥陀寺の4カ所に文化財解説板を新設する。
	百済区	重要文化財百済寺三重塔周辺環境整備事業	重要文化財である百済寺三重塔が梵字池に映えるよう景観柵に変更(58m)して、三重塔や梵字池の由来の説明板1カ所を新設する。
	川西町	史跡島の山古墳東道路防護柵改修事業	古墳周溝の東側フェンスの更新と古墳東側の調査成果を反映した説明板を新設する。
	宇陀市	宇陀市文化資源活用事業	国指定史跡 見田・大沢古墳群の説明板を2カ所更新し、4カ所新設する。既存の写真・図面での解説にくわえて、QRコードを活用した多言語化をおこなう。
	三宅町役場	太子道案内板設置事業	三宅町を通過する「太子道」沿いの4カ所に案内板を設置する。

歴史文化資源活用のための周辺整備事業	宗教法人 文殊院	安倍文殊院 境内文化財説明板設置事業	案内地図4カ所、国宝・重要文化財に対応した文化財説明板(英語対応)3カ所、文化財大型案内板(駐車場)1カ所、および誘導サイン9基を設置する。
	橿原市	橿原市内史跡説明板更新事業	国史跡丸山古墳、新沢千塚古墳群の3基の案内解説版を更新する。多言語化による外国人への配慮のほか、小学校中学年～中学生にも対応する内容とする。
	橿原市	藤原宮跡案内道標設置	近鉄大和八木駅より藤原宮跡へ誘導するために多言語に対応した歩行者用誘導案内道標を下ツ道沿いに4基新設する。
	十津川村	小辺路景観カラー舗装工事	小辺路と県道との交差、重複部分に景観に配慮した石畳風の舗装を施工する。
	山の辺の道「奈良道」を守る会	山の辺の道「奈良道」沿道旧跡説明板設置事業	ベンシヨ塚古墳、大川池塚古墳、栗塚古墳、古市廃寺、岩淵寺跡の5カ所に説明板を設置する。
歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業	『言霊の旅-はじまりのときへ-』公演実行委員会	『言霊の旅-はじまりのときへ-』	なら100年会館にて、記紀・万葉を題材とした朗読と合唱の公演を実施する。万葉学者の上野誠氏が台本を執筆し、河合摂子氏が作曲。女性朗読者の公募や合唱への一般参加も募る。
	NPO法人文化創造アルカ	「きたまち平成風土記」プロジェクト	「きたまちエリア」の文化財、伝承などを地域の人とともに改めて調査・整理する勉強会や県立美術館との連携展示・講座を実施する。加えて、その成果をまとめた冊子「きたまち平成風土記」を作成する。
	鯨椅子project	鯨椅子project #7「かみのいと」	ガイドが、登録有形文化財である町家物語館の建物を当時の時代背景や邸宅の歴史価値及び建物の特徴を解説しながら案内する。その後町家物語館を舞台とした演劇において、ガイドが出演者となり建物の特徴を活かした内容を上演する。
	古事記と宇宙開催事業実行委員会	古事記と宇宙開催事業	DMG MORIやまと郡山城ホールにて、「古事記と宇宙」をテーマとした新たな切り口で古事記に秘められた魅力を落語や朗読・講演・映像・音楽と共に伝える。

歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業	奈良県宗教者フォーラム実行委員会	第15回奈良県宗教者フォーラム	薬師寺まほろば会館にて、「日本のこころと宗教の役割 明治維新から150年-宗教・文化政策を考える」をテーマに、国立歴史民俗博物館長と天理大学教授を招聘し講演会を実施する。
	大和路まほろばウォーク実行委員会	神武東征の道を辿る大和路まほろばウォーク	毎年全国からウォーカーが集結する大和路まほろばツデーウォークと日本書紀の神武東征神話を組合せたウォーキングイベント。第1回は橿原市の「神武祭」と同時に開催し、第2回は宇陀地区の神武神話の遺跡を巡る、第3回は東征到達の地「橿原宮」の史跡を巡るウォーキングイベントシリーズとして展開する。
	特定非営利活動法人うちのの館	THE MEIJI 150 FES. うちのの館 明治150年フェスティバル	登録有形文化財「藤岡家住宅」で、明治150年をテーマに、藤岡家住宅に残る明治の文人たちの資料や当時の教科書の展示をし、併せて「藤岡家と明治の文人たち」と題した講演会や朗読・演奏会を実施する。
	かづらき煌ネットワーク	「葛城を知ろう」研修会	葛城地区の歴史をより多くの方に知ってもらうための研修会や葛城の遺跡や神社仏閣を巡るウォーク等を年間6回実施予定。
	特定非営利活動法人奈良まほろばソムリエの会	「なら記紀・万葉を味わい楽しむシリーズ講演会」の開催	6月開催講演会(奈良ロイヤルホテル)は森下恵介氏「大寺の成立と展開～飛鳥から平城へ～」を予定し、11月開催講演会(大和高田さざんかホール)は午前中は各グループに分かれ史跡ウォークや食べ歩き、まほろばカルタ会や歴史講演会などを実施、午後は講演会を予定。
	歴史フェスティバル実行委員会	第7回おもしろ歴史フェスティバル「歴史を愉しむ！！」	明日香村・国営飛鳥歴史公園及び県立万葉文化館で開催する。人気を博す「刀剣」をテーマにした展示、講演、ステージイベントなどを実施する。また「記紀・万葉」をテーマにした謎解きゲーム、歴史や奈良を題材にしたアニメ、ゲーム、映画、ゆるキャラなど、いわゆる「エンターテイメント」を一堂に集めて紹介する。
	五條芸術・文化の会	『日本書紀』から学ぼう～五感に響くシンポジウムにむけて～	奈良県発行の冊子『名所図会』を活用し、「『日本書紀』から学ぶ会」という勉強会を3回開催する。その後12月に五條リバーサイドホテルにてシンポジウム(勉強会の成果発表と演奏会)を開催する。
	一般社団法人吉野ビクターズビューロー	吉野山鬼だらけ事業	吉野町金峯山寺の節分は「福は内、鬼も内」と唱え、全国から追われてきた鬼を迎え入れようとする全国的に珍しい行事である。これにちなみ、吉野山にて、奈良県内の追儺式を行っている寺社の鬼を集めた「鬼のサミット」を開催する。鬼の座談会という演出で、各寺社の節分会の様子を映像や振る舞いで披露する。
天理の七夕有志の会	石上神宮の七夕	天理市の石上神宮にて、七夕イベントを開催する。イベントでは笹飾り、縁日、野外コンサート、竹アートでのライトアップを実施。また、イベント参加者の中から抽選で、石上神宮の説明や神宮所有の国宝『七支刀』(復元品)の特別拝観を実施する。	

歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業	ヤマト地域連携推進協議会	ヤマトウォークイベント事業	天理市・桜井市・川西町・三宅町・田原本町にて、距離に応じた複数のウォーキングコースを設定し、エリア内の歴史文化遺産を地元のボランティアガイドと共に巡る。ウォーキングマップを作成し、参加者だけでなく、県民に対してもルートの普及啓発を行う。
	河合町観光ボランティアガイドの会	第10回 めざせ長屋王邸！「片岡進上」木簡ウォーク	河合町内で、河合町教育委員会の職員による講演会を実施する。 また、平城宮跡から出土した木簡の記述「片岡進上」にちなみ、疑似荷を背負って長屋王邸跡を目指すウォーキングイベントを実施する。観光ボランティアガイドによる道案内で約15キロを歩く。
	あかり祭り実行委員会	あいさこいさ祭り 秋の伊勢街道 あかり祭り	宇陀市内の歴史文化資源（墨坂神社、旧旅籠・あぶらや、他）を中心に、古い町並みをロウソクのあかりで照らす催しを実施する。 地域伝統行事である秋祭りと同日に開催することで、時代行列や御神輿の練り歩きと併せて、文化体験の相乗効果を狙う。
	土舞台顕彰会	「土舞台」を通じた地域資源の発見と、芸術芸能創造事業	桜井市の土舞台にて、楽団「土舞台ユーラシア・アンサンブル」の公演を開催する。また、桜井市内で土舞台の歴史を掘下げる講演会（又はシンポジウム）を実施する。
	灯の路と大とんど実行委員会	灯の路と大とんど	田原本町の多神社にて、「大とんど」という火祭りを開催する。催しでは、会場内のライトアップに加え、古事記や多神社を題材としたクイズ大会、歴史を題材とした奉納俳句、資料館の開放・解説などを実施する。
	〈ボイス・オブ・タケル〉実行委員会	ボイス・オブ・タケル2018	大淀町のあらかしホールにて、大淀町にゆかりある「健皇子」をテーマにシンポジウムを開催する。内容は、①朗読劇②講演③パネルディスカッション（パネリストは里中満智子氏他）。 健皇子が障がいを持つ皇子とし描かれていたことにちなみ、障がい者（社会的弱者）の視点から古代史を考える。